



Walk with Children

めぐろ



せいび

217 号

2025 年 11 月

サレジアン国際学園目黒星美小学校

あなたの御計らいはわたしにとっていかに貴いことか。

神よ、いかにそれは数多いことか。数えようとしても、砂の粒より多く

その果てを極めたと思っても、わたしはなお、あなたの中にいる。

(詩編 139 17-18)

校長 シスター小島理恵

11 月、秋が深まり冬の訪れを感じ始める時期です。学校は後期に入りました。後期前半は 2 か月弱ですので、あっという間に過ぎてしまいそうです。

さて、校報せいび 10 月号でお知らせしましたように、先日、シスターマリア・トロンカッティの列聖式がバチカンのサンピエトロ広場で盛大に執り行われました。シスターは、エクアドルのアマゾン地方の人々にとっては心のよりどころでしたので、これから後も人々はシスターの取り次ぎを願って祈りを捧げることでしょう。そしてまたシスターも、彼らの支えとなり、天国から見守ってくださることでしょう。亡くなった方を思い起こす時、温かい思い出やその方の優しい笑顔がふっと心に浮かんできます。共に生活し、笑い、語り合い、時には共に泣き、苦しいことも共有した、そんな方との思い出は、いつまでも心に残るものです。

カトリック教会では、11 月を「死者の月」としています。亡くなられた方々の永遠の安息を願いましょう。地球上では戦争終結が未だ全く見えない国々があり、人々の命が蔑ろにされる日々が続いています。小さな子ども達の心は、癒えることのない深い傷を負っています。世界の平和のためにも、共に祈りを捧げて参りましょう。

慰霊の日

2 年 学年主任

11 月 18 日に「慰霊の日の集い」がおこなわれます。運動会や音楽会とは趣の異なる行事ですが、本校らしい温かさ
と祈りの心があふれる大切な時間です。

集いの中では、在学中に亡くなった子どもたちのためにも祈りをささげます。幼くしてこの世での役目を果たし、神様のもとへ帰った子どもたち、またそのご家族に思いを寄せながら、聖歌「この時この日のこの命を」を歌います。

この時この日のこの命を 主のために大切に 生きていたい
再び帰らぬ恵の日を 主と共に主のうちに 生きていたい
見ている友を 愛さぬような 偽りでなく
神への愛を 心を込めて この兄弟に

(聖歌「この時この日のこの命を」2 番)

死は別れを伴う辛いものです。しかし、神様は私たちに天国での永遠の命を示しながら、「今をどう生きるか」を問いかけられています。

児童一人ひとりが今いただいている恵みに感謝しながら、その恵みを周りの人へ分け与えていくことを考えられるような集いとなるよう、祈りの気持ちで準備の日々を過ごせば幸いです。

遠足

秋の遠足は、1年生は林試の森公園、3年生は野川公園、4年生は小金井公園、5年生は高尾山、6年生は富士の聖母巡礼へ出かけました。秋の一日、自然の中で友達と仲良く過ごした遠足でした。

1年

1年生のえんそくで、「だるまさんがころんだよ」をしたよ。さいしょはつかまって、れつがながかったけれど、さいごはプチンと手と手のあいだをきって、とおくまでにげられたよ。



1年

1年生のみんなと先生とどろけいをしたんだよ。学校よりひろくて、いっぱいはしれてたのしかったよ。つぎのえんそくのときは、ほかのあそびもしてみたいな。



1年

ぼくが、たのしみにしていたえんそくの日がきました。わくわくして、あさはやくおきて、あさごはんもたくさんたべて、学校にいきました。とてもたのしかったので、またえんそくにいきたいです。



楽しかった遠足

3年

わたしは野川公園へ遠足に行きました。クラスごとに集合写真をとった後、自ぜんかんさつ園に行きました。そこで植物やお花の写真をはんでたくさんとりました。彼岸花がとてもいっぱいありました。白い彼岸花もあってびっくりしました。他にもいいにおいのする花やおもしろい形のつぼみがあったりして、おもしろたんけんでした。

クラス遊びで、ふえおにをやった時、わたしは思っていたよりも最後の方までのこれたのですが、最後の方でつかまってしまってくやしかったです。

この遠足で学んだ「楽しくなかよく遊ぶ、でも集中するときはしっかり集中すること、はんのみんなで行動する」は、これからの生活でも、いかしてすごしたいです。



小金井公園

4 年

朝、いつもより早く起きて外を見ると、とても晴れていたもので、これから始まる遠足が楽しみになりました。小金井公園に向かう途中、社会の授業で学習した玉川上水を見学しました。今もきれいな水が流れていて、江戸時代に作った玉川兄弟はすごいなと思いました。

公園では、まず江戸東京たてもの園でオリエンテーリングを行いました。江戸時代の建物を見学し、その中でも火がたいである家があり、いんしょう的でした。次は広場でクラスの人々と遊びました。特に氷おにでは、たくさんつかまってしまったけれども、友達が何回も助けてくれたのでうれしかったです。

ぼくはこの遠足で、友達のことをもっとたくさん知ることができたのでよかったと思います。これからもこの遠足で学べたことを大切にして、友達と仲良く楽しく元気に過ごし、そして後期も一日一日を大切にしていこうと思います。



協力できた高尾山

5 年

9 月 26 日に遠足で高尾山へ行きました。前期前半の合宿でもハイキングがありましたが、高尾山も歩く道のりが長いので緊張していました。

わたしは、この遠足でうれしかったことがあります。それは、あまり話したことがない子と友達になれたことです。お互いに、

「もう少しだからがんばろう！」

と声かけをしているうちに、だんだんと仲良くなれたのです。

また、この遠足で学んだことがあります。それは「ゆずり合う」ということです。高尾山の道はとてもせまく、すぐそばが川だったので、だれかが通るときは、ゆずりあって歩くことができました。そうすると気持ちが良くなり、すてきなことだなと感じました。

緑豊かな自然を作ってくださった神様や、この日のためにたくさん計画を立ててくださった先生方に心を込めて感謝したいです。

富士の聖母巡礼

6 年

バスから降り、森を通って聖母像の前に着きました。富士山の 2 合目にあるこの聖母像については、宗教の授業で学び、戦争の間、子どもたちを守ってくれたマリア様に感謝するためや全世界の子どもたちのために建てられたことを知りました。楽しみにしていた実際の聖母像は、大きくてきれいで輝いて見えました。世界中で苦しんでいる人々のために、心を込めてお祈りをしました。大きなマリア様の像を見つめると、きっと願いを叶えてくれると感じました。

お祈りを終えて、お弁当を食べた後は、富士山の五合目をみんなで歩きました。標高が高いので涼しく、とても気持ちがよかったです。行き帰りのバスの時間も楽しく過ごせました。

これからも世界の人々ためにお祈りすることやみんなで助け合って何かを達成すること、みんなで楽しむことなどを大切にしていきたいです。



2 年秋の自然教室

2年生の合しゅくさい高だ

2年

ぼくは、10月9日、10日で山中こに行きました。

1番心にのこったことは、きららという公園でごはんを食べたり、ケイドロをしたりしたことです。なぜかと言うと、すずしい風やはじめて見るけしきの中でおにごっこができて、とてもうれしかったからです。おべんとうはクラスみんなでわっかになって食べました。おべんとうを食べる時に、とんびにおべんとうを取られるかがしんばいでした。お母さんが作ってくれた、しゃけこんぶわかめおにぎりはとてもおいしかったです。みんなのおべんとうもとてもおいしそうでした。そのあと、木の道をみんなで通っておさんぽをしながら、クラスぜんいんで合しゅくの歌を歌いました。心がほかほかあたたかな気持ちになりました。

合しゅくはとても楽しくて、もう1ぱくとまりたかったです。

